

登録コード	HS530400	開講年度	2026				
授業題目	動物栄養学特論				担当教員	上野 豊 他	
英文授業名	Advanced Animal Nutrition				副担当	徳武 優佳子	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				博士課程学生に相応しい、理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力を培えるようになる		
(2)詳細 /Detailed information	動物栄養学の最新の知見を学ぶことによって，効率的かつ環境低負荷の畜産を達成するためのを理論を理解し，研究に応用できるようになる。						
(3)授業の概要 /Overview of course	飼料とは栄養素を含み、家畜、家禽等に対して経口的に栄養素を給与し得るものである。これまでの飼料は高品質・低コストの畜産物を生産することを唯一の目的で開発・利用され、目覚しい成果を上げてきた。しかしながら、かつてない人間活動の活発化に伴って環境負荷が増大している今日、畜産による環境負荷も無視できないところまで来ている。この講義では、飼料の栄養素としての役割について理解を深めるとともに、環境低負荷や資源循環へどのように寄与し得るかについても講義する。受講生には課題を与え、発表やレポート提出をもとめる。						
(4)授業計画 /Course plan	1．動物栄養学の概要 2．栄養素の消化吸收 3．栄養素の代謝 4．非栄養素の機能 5．単胃動物の栄養と飼料 6．反芻動物の栄養と飼料 7．栄養素の調節による動物生産性の向上 8．資源循環・環境負荷と動物栄養 9．リサイクル飼料の利用・農産バイオマス 10．リサイクル飼料の利用・水産バイオマス 11．リサイクル飼料の利用・都市厨芥 12．動物栄養学の最新のトピックス1 13．動物栄養学の最新のトピックス2 14．飼料学の最新のトピックス1 15．飼料学の最新のトピックス2						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	プレゼンテーション50点，レポート50点として，これらの合計点で評価する。						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	授業で解説した内容と同レベルのプレゼンテーション・レポートを作成できれば「合格水準にある」，応用的な内容を入れることができれば「やや上にある」，応用的な内容をより多く入れることができれば「かなり上にある」，発展的な内容のものを作成できれば「卓越している」とします。						
(7)事前事後学習の内容 /Prep and review work	メールまたは授業時間中に指示します。						
(8)履修上の注意 /Notes	開講の曜日、時限、教室は変更する場合がありますので、注意すること。						
(9)質問,相談への対応 /Questions and requests for advice	担当教員がメールにて対応する。						
(10)授業の形式 /Course format	1-11回は討論を含む双方向形式で，12-15回はプレゼンテーション形式で行います。						
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない						
【参考書 /Reference work(s)】	必要に応じて担当教員が紹介する						